

## 平成30年度工学部の学部改組について（決定）

熊本大学では、工学部の学部改組を計画しており、このことは既に「平成30年度熊本大学入学者選抜要項」等で予告していますが、このたび、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議の結果、学部改組が認められました。

については、平成30年4月から現行の7学科（物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科）を4学科（土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科、材料・応用化学科）に再編する学部改組を行います。

### 1. 学部改組の概略

新たに設置する土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科、材料・応用化学科には、工学の専門分野に対応したそれぞれ3つの教育プログラム、計12教育プログラムを設置します。（図1）

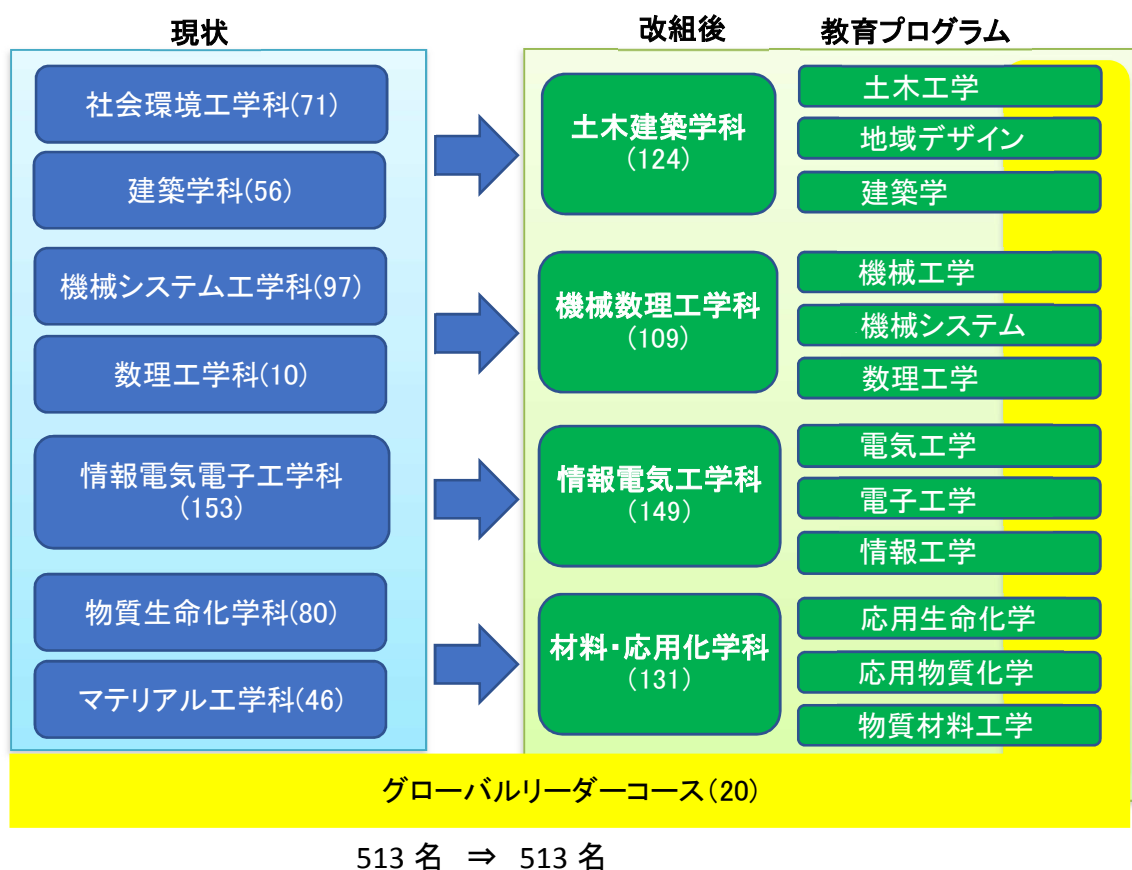


図1 改組概要図（括弧内の数字は、各学科定員、グローバルリーダーコースの定員は各学科定員の内数）

※ 入学後1年次では、各学科に所属します。2年次進級の際に本人の希望により、各学科の教育プログラムを選択します（Late Specialization）。ただし、特定の教育プログラムに希望者が集中した場合には、1年次の成績に基づいて履修するプログラムを決定します。

なお、平成30年度入試においては、現行の7学科で予定している選抜方法で実施しますので、「4. 平成30年度入学者選抜方法」で記載している方法によって、各学科、各教育プログラムに所属します。

## 2. 学科再編や教育プログラム導入によるメリット

現在の7学科を見直し、工学全般にわたる共通の基礎的科目を修得した上で、共通の基盤教育科目を有し、かつ、工学における伝統的な基幹分野への明確な目的意識を持った人材を育成するために、類似した基幹分野を中括りした4つの学科に改組します。

各学科では、これまでの現行の学科と同様に、社会的に認知され、国際的にも通用するJABEEあるいは環境ISO14001の認定を受けることができる教育プログラムを構築します。

1年次に工学部共通の工学基礎科目、学科共通の最も基礎的な学科基盤科目を配置して基礎教育を終えた後に、分野別の到達目標を備えた教育プログラムを用意し、教育プログラムへの配属を2年次とするLate Specializationを導入します。

Late specializationにより、入学後の1年間で幅広い基礎力とさまざまな専門分野に適用する学問的力量を培うことができ、さらに自分の適性を見極めた上で、2年次から進むべき教育プログラムを自ら模索・決定することができます。これにより将来選択する専門分野へのモチベーションを高めることができ、2年次からの3年間で、明確な目的意識を持って専門分野別の基礎から応用までを系統的に学ぶことができます。

さらに、大学院博士前期課程との連続性が確保されることで、6年一貫的な教育プログラムのもと、より高度な専門知識を学ぶことができます。

## 3. 各学科・プログラムの概要

### 土木建築学科

#### ・土木工学教育プログラム

土木工学教育プログラムでは、社会基盤施設の調査・計画・設計・建設・管理、資源循環型の環境保全に関する幅広い視野と知識、および高い専門技術力を有する人材の育成を目的とします。

#### ・地域デザイン教育プログラム

地域デザイン教育プログラムでは、防災・減災、まちづくり、景観デザインなど複雑な地域社会の諸問題に対して、具体的な課題を明確にして解決策を導き、まちづくりや公共政策の実践の中で次世代型社会システムを構築できる能力を持った人材の育成を目的とします。

#### ・建築学教育プログラム

建築学教育プログラムでは、理系と文系の領域を合わせもつ建築という学問分野を総合的に把握する能力とバランス感覚を持ち、快適性、安全性、利便性、環境調和性、芸術性などを総合的に考慮しながら、魅力的で持続可能な建築や都市を創造できる能力を持った人材の育成を目的とします。

### 機械数理工学科

#### ・機械工学教育プログラム

機械工学教育プログラムでは、ものづくりの基幹となる機械要素技術（熱・流体、エネルギー変換、材料強度、精密加工）の専門知識・技術やこれらを幅広い問題に活かすことができる基礎力・応用力を持った人材の育成を目的とします。

- ・機械システム教育プログラム

機械システム教育プログラムでは、生産プロセス（コンピュータ技術を駆使した信号の計測処理・システム制御）に関する知識・技術やこれらを幅広い問題に活かすことができる基礎力・応用力を持った人材の育成を目的とします。

- ・数理工学教育プログラム

数理工学教育プログラムでは、広い分野にわたる工学的知識およびその分野に熟練し創造できるための基礎となる数学的能力を有し、工学と数学の融合を目指し、実行し、新しい分野をも創造しうる能力を持った人材の育成を目的とします。

## 情報電気工学科

- ・電気工学教育プログラム

電気工学教育プログラムでは、電気エネルギーの効率的利用など幅広い電気技術に関する専門知識を備え、温かい人間社会をエネルギー分野から支える使命感と正しい倫理観を持ち、次世代につながる新たな社会基盤を創造できる能力を有する人材の育成を目的とします。

- ・電子工学教育プログラム

電子工学教育プログラムでは、電子情報システムに関する広範な専門知識を備え、人と環境の調和を目指した社会構築に貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観、電子情報分野における新しいものづくりのもとになる能力を持った人材の育成を目的とします。

- ・情報工学教育プログラム

情報工学教育プログラムでは、情報通信技術やその応用に関する専門知識、急速な技術革新と応用分野の拡大に柔軟に対応できる能力、豊かで安心・安全な高度情報化社会の実現に貢献する使命感を備えた創造性を有する人材の育成を目的とします。

## 材料・応用化学科

- ・応用生命化学教育プログラム

応用生命化学教育プログラムでは、化学、生物学、物理学の基礎知識と化学および生化学の専門的素養の調和・融合の能力、立体的思考をするための広い視野と感性、化学・生命化学に関わるあらゆる問題に積極的かつ柔軟に対応できる能力を持った人材の育成を目的とします。

- ・応用物質化学教育プログラム

応用物質化学教育プログラムでは、多様な教養的素養と物理学および化学の基礎知識に加え、物質化学に関する専門性を深める事で広い視野と好奇心、社会のあらゆる問題に科学技術の立場から積極的かつ柔軟に貢献する高い意識、国際的な舞台で活躍できる能力を備えた人材の育成を目的とします。

・物質材料工学教育プログラム

物質材料工学教育プログラムでは、材料工学の基礎知識とそれに関連する一般工学の基礎知識に加え、地球環境の保全や人間社会の発展および人類の福祉・幸福への貢献を考慮した上で国際的な視点から材料工学の未来像と関係づけて課題が探究できる能力、その解決にむけて実験計画を設定できる能力、成果をまとめ発表できるコミュニケーション能力、世代を越えて協力者と協調できるチームワーク能力を備えた人材の育成を目的とします。

#### 4. 平成30年度入学者選抜方法（平成30年4月入学）

平成30年度入学者選抜に関する一般入試及び特別入試における選抜方法等は次のとおりとなります。

- ① 平成30年度入学者選抜の募集定員、大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目及び配点などの選抜方法は、**改組前の工学部7学科での選抜方法で実施します**。詳しくは、平成29年6月発表の「平成30年度熊本大学入学者選抜要項」、平成29年10月発表予定の「平成30年度熊本大学特別入試学生募集要項」又は平成29年11月発表予定の「平成30年度熊本大学一般入試学生募集要項」のそれぞれ該当するページを参照してください。
- ② 平成30年度入試に限り、改組前の学科で出願し、合格すれば4月からは改組後の対応する学科に所属します（表1）。対応する教育プログラムが複数ある場合は、2年次進級の際に選択します。

表1 平成30年度入試の学科・教育プログラム対応表

改組後（入学時の所属）		改組前（選抜時）
土木建築学科 (124名)	土木工学教育プログラム	社会環境工学科 (71名)
	地域デザイン教育プログラム	
	建築学教育プログラム	
機械数理工学科 (109名)	機械工学教育プログラム	機械システム工学科 (97名)
	機械システム教育プログラム	
	数理工学教育プログラム	数理工学科 (10名)
情報電気工学科 (149名)	電気工学教育プログラム	情報電気電子工学科 (153名)
	電子工学教育プログラム	
	情報工学教育プログラム	
材料・応用化学科 (131名)	応用生命化学教育プログラム	物質生命化学科 (80名)
	応用物質化学教育プログラム	マテリアル工学科 (46名)
	物質材料工学教育プログラム	

学部定員 513名 ← 513名

※ 現行の学科の教育内容に対応する教育プログラムが、改組後の各学科で準備されており、同様に学ぶことができます。

## 5. 平成31年度入学者選抜方法（平成31年4月入学）

平成31年度入試では、改組後の4学科の募集定員、大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目で実施します。詳細は本学ホームページ「平成31年度熊本大学入学者選抜における学力検査実施教科・科目等について」を参照してください。

### 【本件に関するお問合せ先】

- ・入試に関すること      学生支援部 入試課      096-342-2148
- ・教育プログラム等に関すること  
    教育研究支援部 自然科学系事務課 工学部教務担当      096-342-3522